

令和4年度第5回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会
会議録

期日：2023年2月10日（金）10時00分～11時15分

場所：藤沢市役所本庁舎3階 3-3会議室（オンライン会議）

出席者（敬称略）：

【検討委員】

渡邊 泰典
藤井 佳世
新海 政雄
神原 勇人
村上 尚
越 美紀
河内 幸恵
三浦 孝一
澤野 美奈子

【検討部会員】

峯 浩太郎 教育部長
近 尚昭 教育部参事

【事務局】

浅野 智一 教育総務課 主幹
安西 美知代 教育総務課 課長補佐
根本 慎太郎 教育総務課 主任
角田 祐生 教育指導課 指導主事
時田 裕美 教育総務課

欠席者

【検討委員】

稲垣 景子

【検討部会員】

伊藤 雅浩 教育総務課 課長

【傍聴者】4人

（渡邊委員長）

第5回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会を開催する。議事に入る前に議題
（3）「藤沢市立学校適正規模・適正配置実施計画」については、審議に関する情報で

あり、公開することにより、未確定の段階の情報が確定されたものと誤解され、市民の間に混乱を生じさせる恐れがあることから、藤沢市情報公開条例第6条第3号の規定により非公開での審議としたい。

(委員)

異議なし

(渡邊委員長)

異議なしのため議題(3)については後ほど非公開での審議とする。

続いて議題(1)第4回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会の会議録(案)についてを議事とする。事務局から説明をお願いしたい。

(事務局 教育総務課 浅野主幹)

公開資料1 第4回検討委員会会議録(案) 参照

第4回検討委員会会議録(案)のご確認をお願いしたい。事務局からの説明は以上。

(渡邊委員長)

会議録の内容について修正等あるか。

修正等がないので、会議録については記載されている内容で了承する。

続いて議題(2)アンケート結果についてを議事とする。事務局から説明をお願いしたい。

(事務局 教育総務課 根本主任)

公開資料2 アンケート詳細版(案) 参照

これからの学校のあり方についてのアンケート調査結果(詳細版)となる。まだデータが入っていない箇所がある。アンケート全体の構成と、分析の仕方の視点でご確認いただきたい。

P1 目次となる。1 調査概要、2 回答者の内訳、3 共通質問、4 教職員のみを対象とした設問、5 自由記述回答、6 考察、最後にアンケートの依頼文と質問紙を添付した。

P3、1 調査概要となる。

P4、回答者の内訳は、未就学児保護者、小・中学校保護者、教職員の回答内訳となる。

P7「(1)「藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針」にそって、これからの学校の規模や配置について検討していくうえで、大切だと思うことはなんですか？」の設問は、未就学児保護者、小中学校保護者を対象としたもの。未就学児保護者のグラフはまだ載せていないので、P15③属性別、小学校保護者の回答結果を例に見ていただきたい。各項目4段階評価の選択割合を示している。

P16④-1 から7項目について、地域別に示したもの。

P31「(2) あなたは小学校は1学年あたり、何クラスが理想だと思いますか？」の設

問については、未就学児保護者・小学校保護者、小学校教職員を対象にしたもの。

①属性別の回答結果である。

P32②は未就学児保護者の地区別の回答結果である。

P33③は小学校保護者の地区別の回答結果である。

P34④選択理由に関しては、小学校教職員のみ対象としたもの。理想のクラス数を選んだ理由の回答結果である。

P35「(3) あなたは中学校は1学年あたり、何クラスが理想だと思いますか？」の設問については、中学校保護者と中学校教職員を対象にしたもの。構成については小学校保護者と一緒である。

P38「(4) お子さんの通学にはおおよそ何分かかっていますか」の設問については、小中学校保護者を対象にしたもの。

①属性別の回答結果となる。

P39②は、小学校保護者の回答の地区別の回答結果である。

P40③は、中学校保護者の回答の地区別の回答結果を載せる予定である。

P41「(5) どの程度の時間までが通学時間の可能な範囲だと思いますか？」の設問については、未就学児保護者、小中学校保護者を対象にしたもの。①は属性別の回答結果である。

P42②未就学児保護者の地区別の回答結果である。

P43③小学校保護者の地区別の回答結果である。

P44④は小学校の現在の通学時間別の許容通学時間は、実際かかっている時間が左の軸で、その選択をした人の許容の通学時間の割合を示したもの。例えば実際の通学時間が15分以下と回答した人で、許容の通学時間が30分以下と回答した人の割合は57.01%となる。

P45は中学校の地区別の結果、P46は現在の通学時間別の結果を載せる予定である。

P47、4教職員のみ対象とした「(1) 現在所属の学校の学級数の規模はどのように感じますか？」の設問について、①属性別の回答結果である。

P48②所属の学校規模別の小学校教職員の回答結果である。

P49③所属の学校規模別の中学校教職員の回答結果を載せる予定である。

P50「(2) 過大規模解消のための手法はどう思いますか？」の設問となる。①小学校教職員の4段階評価した回答結果である。

P51②中学校教職員の回答結果を載せる予定である。

P52「(3) 小規模解消のための手法はどう思いますか？」の設問については、(2) 大規模解消のための手法と同じ構成である。

P54「(4) 適正化への取組で重視すべき点は何だと思いますか？」の設問となる。①小学校教職員の回答結果、P55②中学校教職の回答結果を載せる予定である。

P56「5 自由記述回答(抜粋)」は回答が多かったため、意見を抜粋して掲載した。

「(1)「藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針」にそって、これからの学校の規模や配置について検討していくうえで、大切だと思うことは何ですか？」は

未就学児保護者、小中学校保護者、教職員を対象として設問で、寄せられた意見を属性別にし、内容を分類に分けて示した。

P63「(2) 現在所属の学校の学級数の規模はどのように感じますか？」に寄せられた意見は教職員のみ対象とした設問である。P63 は小学校教職員の意見の抜粋、P64 は中学校教職員の意見の抜粋である。

P65「(3) 小学校/中学校は1学年あたり何学級だとちょうど良いと思いますか？」に寄せられた意見は教職員のみを対象とした設問である。P65 は小学校教職員の意見の抜粋、P66 は中学校教職員の意見の抜粋である。

P67、6 考察となる。

P69 以降は参考資料で、アンケートの依頼文と質問紙となる。

アンケート詳細版の説明については以上。

(渡邊委員長)

説明に対する質疑はあるか。

(神原委員)

教職員対象のアンケートの集約方法について質問したい。P34④小学校教職員対象のクラス数選択理由のグラフについて、アンケート用紙 P80、6 のグラフと理解するが、例えば「学校行事等が運営しやすい」というまとめ方をしても、「5. 1学年あたり何クラスがちょうど良いか」と答えている結果がないと、意味がないのではないかと思う。「教員相互の連携が図りやすい」という価値観の中で、何クラスがちょうど良いと答えていると思うので、両者がないとP34のグラフの意味がないのではないかと感じた。さまざまな考え方でクラス数を選択していると思うので、両方を連携させて結果に表さないとアンケート結果の分析に有効にならないのではないかと感じた。

(事務局 教育総務課 根本主任)

神原委員がおっしゃる通りだと思う。教職員が答えた理想のクラス数の回答結果については、P31①属性別でクラス数の内訳のグラフを載せている。P34で「教員相互の連携が図りやすい」を選択した人が、実際何クラスを選んだか、資料を見てもわからない。P34は実際に答えたクラス数と、そのクラス数を回答した人がどの理由を選んだかリンクさせたものに差し替える。

(渡邊委員長)

ほかに質問があるか。

(越委員)

P56、5 自由記述回答(抜粋)は、抜粋とあるが、似ている意見をまとめたものではなく、事務局の判断で意見を抜粋したものと理解していいか。

(事務局 教育総務課 根本主任)

意見の抜粋については似た意見をまとめたものではなく、事務局で抜粋したものまとめた。抜粋の仕方としては、内容によっては適正配置と関係ない意見や、個人を特定できてしてしまうものを除いて、実施計画の取組に役立てられるものを抜粋した。

(渡邊委員長)

ほかに質問があるか。

(藤井委員)

神原委員と同じだが、P65、「1学年あたり何学級だとちょうど良いと思いますか？」に寄せられた意見が抜粋されているが、どのような学級数に対する意見かが現状ではわからない、丁寧に記載するといふ。

(事務局 教育総務課 根本主任)

P65についても、選択したクラス数とリンクしたかたちにする。

(藤井委員)

P16～18 の下段の表だが、「データの個数/自宅からの通学距離・通学にかかる時間」という表現について、「データの個数/」は削除していいと思うがいかがか。

(事務局 教育総務課 根本主任)

必要のない表現なので、取り除く。

(渡邊委員長)

ほかに意見あるか。

(神原委員)

越委員の自由記載の意見抜粋で、事務局の説明で理解できた。単に抜粋と書かず、事務局から説明があったとおり、適正配置の取組に関係ないものや、個人を特定する記述は除外としたと記載した方が誤解を生じないと思う。

考察を導き出せるデータが示されていないといけないと思う。データと考察内容が導き出せるよう整理する必要があると思う。

(渡邊委員長)

事務局から説明をお願いする。

(事務局 教育総務課 根本主任)

抜粋の説明については、どういった観点で抜粋したか加える。

考察については、アンケート結果のデータを基に作成した。まだ中学校保護者や未就学児保護者のデータを入れていないので、完全にデータが入れば示せると思う。

(渡邊委員長)

そのほかに意見あるか。

意見等がないので、次第2その他について事務局から説明をお願いしたい。

(事務局 教育総務課 安西補佐)

検討委員の任期については実施計画策定までお願いしているので、令和5年度も引き続きお願いしたい。本日は令和4年度最後の検討委員会となる。令和5年度年度の日程は後日改めて連絡する。来年度1回目は4月中の開催を予定している。

(渡邊委員長)

その他、委員のみなさまから質問あるか。

(新海委員)

小中学校は広域避難場所になっているので、藤沢市で大きな災害があったとき、避難場所は大切である。統廃合されたあとは避難場所が変わるのかお聞きしたい。

(事務局 教育総務課 浅野主幹)

今後実施計画を策定していく中で、広域避難場所を具体的に載せるか検討し、統廃合についてまだ見えていないが、地域との関係性、広域避難場所の考え方を踏まえて考えて実施計画を策定していきたい。

(渡邊委員長)

そのほかに質問等あるか。

(越委員)

来年度の検討委員会の日程で、第1回検討委員会は4月11日(火)になっているが、そう思っていていいか。

(事務局 教育総務課 安西補佐)

初回の検討委員会は、データで送っている日程表に入っている日程でお願いしたい。

(事務局 教育総務課 根本主任)

アンケートの今後の進め方について説明する。アンケート詳細版は今年度中にHPで公開を予定している。今回いただいたご意見を基に、すべてのデータが入ったものを

検討委員のみなさんに送り、確定すれば公開する予定である。

(渡邊委員長)

その他、ご意見やご質問はあるか。

以上で本日の公開での審議を終了とする。傍聴者のみなさまにはご退席いただきたい。

以 上